

II.事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名																			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪機械整備事業																			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町																			
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原1677-2（赤和瀬除雪機庫）																			
交付金事業の概要	<p>鏡野町は、岡山県の最北端に位置し県下でも有数の豪雪地帯です。除雪業務は、鏡野町道路除雪計画に基づき「鏡野」・「奥津」・「上齋原」・「富」の4地区に除雪機械41台を配備し、町内の国・県・町道を主に業務委託により、総延長319kmの除雪作業を行い、冬期間の道路網の安全確保に努めています。</p> <p>既設除雪ドーザは、鏡野町内でも積雪量の最も多い上齋原赤和瀬地区（昨年度、最高で2.5mの積雪）に配備されており、購入後17年が経過し、作業時間が3,353時間を超え、また走行距離も18,080kmを超えており、車両全体の老朽化が著しい状態にあります。そのため、出力低下による作業の遅れが著しく、作業の遅延につながっており、地元住民からの苦情と早期の除雪完了について強く要望を受けています。そのため、除雪ドーザ（11t級）1台を新たに整備します。</p> <table border="0"> <tr> <td>【除雪機械整備事業】</td> <td>【既設除雪ドーザの出力低下によるデータ】</td> <td>【除雪ドーザを更新した場合】</td> </tr> <tr> <td>除雪機械</td> <td>・1km当たりの除雪時間</td> <td>・1km当たりの除雪時間</td> </tr> <tr> <td>・除雪ドーザ11t級 1台の購入</td> <td>平成26年度 10分</td> <td>平成29年度 7分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成27年度 12分</td> <td>平成27年度 4.9km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成28年度 13分</td> <td>平成28年度 4.7km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平成29年度 6.5km</td> </tr> </table> <p>【新除雪ドーザ11t級】 ・稼働日数 2日（内訳）2/17(土) 稼働時間 3時間 積雪量 10cm 2/18(日) 稼働時間 6時間 積雪量 10cm</p>			【除雪機械整備事業】	【既設除雪ドーザの出力低下によるデータ】	【除雪ドーザを更新した場合】	除雪機械	・1km当たりの除雪時間	・1km当たりの除雪時間	・除雪ドーザ11t級 1台の購入	平成26年度 10分	平成29年度 7分		平成27年度 12分	平成27年度 4.9km		平成28年度 13分	平成28年度 4.7km			平成29年度 6.5km
【除雪機械整備事業】	【既設除雪ドーザの出力低下によるデータ】	【除雪ドーザを更新した場合】																			
除雪機械	・1km当たりの除雪時間	・1km当たりの除雪時間																			
・除雪ドーザ11t級 1台の購入	平成26年度 10分	平成29年度 7分																			
	平成27年度 12分	平成27年度 4.9km																			
	平成28年度 13分	平成28年度 4.7km																			
		平成29年度 6.5km																			
総事業費(円)	10,659,600	交付金充当額(円)	9,000,000																		
		うち文部科学省分																			
		うち経済産業省分	9,000,000																		
交付金事業の成果目標	<p>新町建設計画（平成17年3月の合併後、15年間の鏡野町の建設計画）の中の町民アンケート「将来どのような町になればよいと思いますか」の質問に対し、町民の6.7%が「災害や事故のない安全なまち」と回答しており、鏡野町除排雪機械更新計画により標準使用年数以上を経過した機械を計画的に更新することにより、出力低下等による除雪作業の遅れが解消され、早期に除雪作業を終えることで雪害や交通事故のないまちを目標とします。</p> <p>また、町内の中でも積雪量の最も多い上齋原赤和瀬地区に新規除雪ドーザ（11t級）を配備することにより、出力低下による除雪作業の遅れもなくなり、降雪時における雪害の防止と生活道路（通勤・通学に利用）でもある道路網の機能を保つことで、電源立地地域である当町の地域住民の通行の安全性を確保することが目標です。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>																				
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、除雪ドーザ（11t級）1台を整備します。定量的な成果指数として、降雪量にもよりますが、除雪機械整備地区（鏡野町上齋原赤和瀬地区）の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情がゼロ件となるように設定します。</p>																				

交付金事業の成果及び評価	本事業を実施し、除雪機械(11tドーザ)を整備したことにより出力低下による除雪作業の遅れもなく、降雪時における雪害の防止と生活道路(通勤・通学に利用)でもある道路網の機能が保たれ、除雪機械整備地区(鏡野町上齋原赤和瀬地区)の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情はありませんでした。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	除雪機械の購入	指名競争入札	富士岡山運搬機(株) 10,659,600
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に無し			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			無し

- (注) ① 事業ごとに作成すること。
 ② 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 ③ 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
 ④ 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 ⑤ 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等をできる限り数値を用いて記載すること。
 ⑥ 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 ⑦ 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。